

2016年度(平成28年度)学校評価自己評価表

I 福山市のめざす子ども像

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

II 前年度の学校関係者評価を踏まえた改善点

- 目指す学校像、生徒像をより明確にして学力及び体力の向上につとめる。
- 評価指標について現状分析をしっかりと行い、より精度の高いものにしていく。
- 評価委員に学校行事等の案内を行うなど、情報提供を適切に行う。

III 中学校区

1 めざす子ども像

自ら考え主体的に学ぶ子 心豊かでたくましい子

2 研究主題及び主な研究内容

自ら考え学び、粘り強く努力する児童・生徒の育成
 ～言語活動の充実と主体的な学びの追求を通して～
 「確かな学力」「豊かな人間性」「健康体力」「福山への愛着」の推進を研究

3 現状(成果及び課題)

(1) 児童生徒

- 「確かな学力」 「基礎・基本」定着状況調査の結果などから、基礎的・基本的な学力の向上が見られる。しかし、全体的な定着は不十分である。能動的な学びを取り入れた授業づくりを推進する。
- 「豊かな人間性」 小中連携、小小連携が深まり、児童生徒の自己肯定感の向上が見られる。今後も連携を深め、「つながり」を大切にして、更なる自己肯定感の向上を図っていく。
- 「健康体力」 小・中それぞれで重点的に取り組んだ項目は、体力の向上が図られた。「体力向上部会」を中心として連携を深め、更なる向上を目指す。
- 「福山への愛着」 「ふるさと学習部会」を中心に企画し、授業で実施している。成果物は、中学校文化祭、小学校学習発表会等で発表し、小中での掲示物等の交流を行った。本年度も、「ふるさと学習」のカリキュラムを見直し、内容を充実させていく。

(2) 授業

- 現状 校区で決めた研究テーマを踏まえて、各校で計画、実践、振り返りを行っている。また小中の授業研修会等に参加し、研究内容を深めている。「授業改善部会」「学力向上部会」を中心として、研究の進捗状況の確認、研究の分析、まとめ、課題の分析等を行っている。
- 課題 授業研究会への参加を計画的に行ったが、参加が難しい実態もあった。今後は主体的な学びを深めるためにも、「福山100NEN教育」(第3木曜日)に計画的に入れ込み推進していく。

	最終更新日	2017年(平成29年)2月21日
福山市立東中学校区	校番 10	福山市立旭小学校

IV 自校

1 学校経営方針

(1) 学校教育目標

心やさしく、自ら学び、生きぬく力を持った旭っ子の育成

(2) 自校の使命(ミッション)

- ① 地域に根ざした信頼される学校づくり
- ② 確かな学力を身につけ、主体的に学び、学んだことを学習や生活に生かすことができる児童の育成
- ③ きまりを守り、「思いやり」と「自律」した行動がとれる児童の育成
- ④ 心身を鍛え、心豊かでたくましい児童の育成

(3) 自校の将来像(ビジョン)

- ① 児童は、「自律」し、将来の夢に向かって今を自己判断し、行動する力を身につけている。
- ② 教職員は、児童主体の学びがある授業を創造するとともに、「自律」「協働」を誇りにしている。
- ③ 学校は、児童に「豊かな人間性」と「つながり」を持たせ持続可能な社会を構築するために地域・保護者との連携を大切にしている。

2 研究主題及び主な研究内容

自分の考えを生き生きと表現できる児童の育成
 ～言語活動の充実と能動的な学びの追求を通して～
 「課題解決に向けて協同的な学びのある理科研究」「児童自治ができる児童会及び学級活動」

3 現状(成果及び課題)

(1) 児童

- 「確かな学力」 国語・算数・理科の基礎基本の力は定着しつつあるが、到達率60%未満の児童の割合が多い。
- 「豊かな人間性」 学校全体として、思いやりのある集団作りができつつある。不登校児童も減少してきたが、30日以上欠席のある児童及び家庭への取組を今後も継続して行う。
- 「健康体力」 体力向上に向けて具体的で組織的な指導を行うことが出来た。しかし投力・走力持久力の向上に今後も取り組む。
- 「福山への愛着」 「ふるさと学習」のカリキュラムにそって実践した。小学校、中学校での学年間のつながりが弱い所が課題である。

(2) 授業

- 現状 「児童自ら考え学ぶ授業作り」をテーマにし、単元を通した児童主体の研究授業を行い、研修を積み重ねることができた。
- 課題 理科授業を起点にし、すべての授業において単元のゴールを指導者及び児童が共有し、児童自身が課題を見つけることができるような日々の授業を創造する。

4 めざす授業の姿

- 児童自身に学習課題を持たせ、主体的に学ぶ授業
- 知識・技能の「習得」と「活用」を意図する授業
- 児童が協同して高め合える授業

V 目標・取組・評価指標等の設定と評価

市重点目標	年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	10月1日 □指標にかかる取組状況 ◎改善方策	力以 評価	達成 評価	2月末 □指標にかかる取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況 ◎改善方策	力以 評価	達成 評価	総合 評価
確かな学力	1	学習課題を明確にし、学習意欲の向上による基礎学力の定着と、思考力・判断力・表現力の育成	★	継続	学習意欲を高め、学習内容の確実な定着のための基礎学力をつける。 (5年「基礎・基本」定着状況調査で県平均以上、標準学力調査で全学年全国平均以上)	「分ろうタイム」を毎月、チャレンジプリント(国語・算数・理科)を毎日実施する。	国・算・理の単元テストで70%以上を85%以上	<p>□学力補充の時間「分ろうタイム」を現在までに11回実施。各学年で重点目標を決め、全員ができるまで個別指導を行った。「国・算・理の単元テストで70%以上を85%以上」では、3教科の平均は86%(進捗率101%)。各教科の結果は別紙表1の通りである。3教科全体では目標達成できているが、教科別に見ると、国語で2つの学年、算数で4つの学年が達成できていない。</p> <p>□チャレンジプリントの後、アタックテストに取り組んだ結果は、別紙表2の通りである。3教科の平均は86%。漢字・ひらがな検定の平均は82%。</p> <p>○「基礎・基本」定着状況調査では、国語 理科(タイプ1)では県平均以上を達成できたが、算数と理科(タイプ2)に課題がある。(別紙表4)標準学力調査の結果は、国語では3学年、算数では3学年、理科では全学年で全国平均以上を達成できた。(別紙表3)</p> <p>◎「分ろうタイム」では、引き続き算数に重点を置いて全職員で個別指導を行い、その学年で身につけておくべき内容をピックアップして確実に定着させる。</p>	4	4	<p>□「分ろうタイム」を現在までに18回実施。国・算・理の単元テストで70%以上は、3教科の平均が86%(達成度101%)。各教科の結果は別紙表1の通りである。3教科全体では達成できているが、教科別に見ると、国語で2つの学年、算数で4つの学年が達成できていない。</p> <p>□チャレンジプリントの後、アタックテストに取り組んだ結果は、別紙表2の通りである。3教科の平均は86%。漢字・ひらがな検定の平均は82%。</p> <p>○「基礎・基本」定着状況調査では、国語 理科(タイプ1)では県平均以上を達成できたが、算数と理科(タイプ2)に課題がある。(別紙表4)標準学力調査の結果は、国語では3学年、算数では3学年、理科では全学年で全国平均以上を達成できた。(別紙表3)</p> <p>◎「分ろうタイム」では、引き続き算数に重点を置いて全職員で個別指導を行い、その学年で身につけておくべき内容をピックアップして確実に定着させる。</p>	4	3	3
					毎時間児童とめあてを共有し、授業を行う。	教師の肯定的評価100%	□「毎時間児童とめあてを共有し、授業を行う。」の教師の肯定的評価は、42%である。(進捗率42%)児童とともにめあてを考え、目的意識を持って学習に取り組ませた。	3	3	<p>□「毎時間児童とめあてを共有し、授業を行う。」の教師の肯定的評価は、92%である。(達成度92%)研究教科(理科・生活科)を中心に、児童が課題を解決していきたくなるようなめあてを設</p>	3	3	4	4

						<p>◎疑問や調べてみたいことと単元でつきたい力をすり合わせてめあてを設定し、毎時間児童とともに確認する。</p>			<p>定した。</p> <p>◎児童にとってよりわかりやすく、意欲を高めることができるめあての設定を研修していく。</p>				
			継続	<p>学習や生活に活用できる表現力をつける。 (児童肯定的評価 85%以上)</p>	<p>授業の中にペア学習・グループ学習・全体交流を取り入れ、互いに学び合うことで、論理的表現力を高める。</p>	<p>教師の肯定的評価 85%以上 児童の肯定的評価 85%以上</p>	<p>□「授業の中にペア学習・グループ学習・全体交流を取り入れ、互いに学び合う場を設定した。」の教師の肯定的評価は92%である。(進捗率 108%) 様々な教科・領域でペア学習・グループ学習・全体交流を取り入れ、考えを深め合えるようにした。</p> <p>「学習したことを使って分かりやすく伝えることができた」という児童の肯定的評価は 79%である。(進捗率 93%)</p> <p>◎何のために行うペア学習・グループ学習なのかを明確にして取り組ませる。(自分以外の考えに気づく・互いの考えをまとめるなど)</p> <p>ノートやワークシートに教師評価を入れ、児童の考えを価値づけていく。(理科・生活科を重点的に)</p>	4	4	<p>□「授業の中にペア学習・グループ学習・全体交流を取り入れ、互いに学び合う場を設定した。」の教師の肯定的評価は92%である。(達成度 108%) 何のために行うペア学習・グループ学習なのかを明確にして取り組ませることができた。また、ノートやワークシートに教師評価を入れることで、既習学習や生活経験を使って考えることを意識させた。</p> <p>○「学習したことを使って、自分が伝えたいことを分かりやすく伝えることができた。」の児童の肯定的評価は79%である。(達成度 93%)</p> <p>◎児童の考えをノートや発言から教師が見取り、コーディネートできる力をつける。</p>	4	4	4
豊かな心	1	規範意識や自己有用感を高める積極的な生徒指導の推進	★ 継続	<p>学校のきまりを守り、自分の生活をよりよくしようとする自律した児童を育てる。 (児童肯定的評価 90%以上)</p>	<p>校区スタンダードの取組を進め、挨拶・掃除・時間・廊下を歩く・身だしなみの5項目を定着させる。</p>	<p>児童の肯定的評価 90%以上</p>	<p>□児童会のあいさつ週間の取組や担当者の指導により、児童の肯定的評価は89%であり、進捗率は99%である。</p> <p>◎「廊下を歩く」などが課題である。児童会に学校の課題を考えさせ、課題を解決させるために児童会目標や集会で全員に呼びかけさせる。</p>	4	4	<p>□児童会によるあいさつ運動やスマイルカード・地域のあいさつバッチの取組もあり、児童の肯定的評価は、92%である。(達成度 102%)</p> <p>□校区スタンダード「挨拶92%・掃除88%・時間92%・廊下を歩く83%・身だしなみ95%」で平均90%となった。(達成度 100%)</p> <p>○「学校のきまりを守り、自分の生活をよりよくしようとしている。」の児童の肯定的評価は 90%である。(達成度 100%)</p>	4	4	4

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

市民から信頼される学校	1	保護者・地域に愛される学校づくりの推進	継続	学校の情報を積極的に発信し、学校への理解や信頼を得る。 (保護者・地域肯定的評価90%以上)	学校だより・学年だより・保健だより毎月1回以上、学級だより2回以上発行するとともに、学年の様子を月1回以上、児童の様子を週に3回以上HPで発信する。	実施率 100%	□学校だより・学年だより・保健だより毎月1回以上、学級だより2回以上発行は、100%達成できた。児童の様子を週に3回以上HPで発信することができた。学年のページは月一回のペースで更新することができた。 ◎確実に発行できたか確認できるようにチェック表を作成し、職員室に掲示する。また、担当からの声かけを確実にやっていく。	4	4	力をつけられるような教師評価の入れ方を学び合う。			
				教職員は、進んで地域の行事に参加する。	年4回以上参加	□現時点で、平均4.4回の参加状況である。(進捗率110%) ◎今後も、地域の行事を確認しながら、計画的に参加していく。	4	4	□現時点で、平均5.1回の参加状況である。(達成度128%) ◎今後も、学外から地域へ向いたり学校の教育活動を見ていたなど、地域との連携を密にし、信頼関係を築いていく。	5	5	5	

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決をあまり図ることができなかった
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決を図ることができなかった

[総合評価]

評価	基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

2016年度（平成28年度）

学校評価自己評価表

福山市立旭小学校

2017年（平成29年）2月21日

2016年度(平成28年度)学校評価自己評価表(最終) 確かな学力

評価指標 国・算・理の単元テストで70%以上を85%以上にする。

1 単元テスト70%以上の児童

別紙表1

国語(進捗率100%)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
%	91	89	90	88	83	73	86

算数(進捗率94%)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
%	91	88	83	72	72	75	80

理科(進捗率108%)

学年	3年	4年	5年	6年	平均
%	86	92	96	92	92

3 標準学力調査の結果

別紙表3

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	81.6 (-1.5)	81.9 (-3.9)	72.7 (+0.5)	79.0 (+6.8)	77.9 (+4.5)	78.1 (-0.5)
算数	85.7 (+0.1)	65.1 (-10.0)	77.0 (+3.3)	74.6 (+5.8)	69.3 (-1.5)	68.1 (-6.1)
理科			82.9 (+6.1)	79.5 (+4.7)	82.6 (+7.1)	76.3 (+4.0)

2 アタックテストの正答率

別紙表2

国語

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
%	91	90	91	84	83	88	88

算数

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
%	91	92	83	79	75	81	84

理科

学年	3年	4年	5年	6年	平均
%	84	87	88	85	86

漢字・ひらがな検定

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
%	78	89	85	85	80	73	82

4 「基礎・基本」定着状況調査の結果

調査	「基礎・基本」定着状況調査		
	教科全体	タイプI	タイプII
国語	69.9(+6.2)	74.0(+6.0)	44.1(+7.4)
算数	68.8(-0.6)	74.3(-0.6)	51.2(-0.8)
理科	63.7(+3.1)	75.1(+7.0)	42.4(-4.3)

2016年度 校区スタンダード集計表					生徒指導部 (最終)					(%)	
1年					4年						
あいさつ	1	2	3	4	あいさつ	1	2	3	4		
じかんいっぱいそうじする	52	38	6	4	じかんいっぱいそうじする	71	24	2	2		
時間を守る	67	27	6	0	時間を守る	57	33	7	2		
ろうかを歩く	65	27	8	0	ろうかを歩く	69	24	7	0		
みだしなみをきちんとととえる	46	48	0	6	みだしなみをきちんとととえる	45	38	10	7		
	79	15	4	2		86	10	5	0		
2年					5年						
あいさつ	1	2	3	4	あいさつ	1	2	3	4		
じかんいっぱいそうじする	67	28	2	2	じかんいっぱいそうじする	53	41	6	0		
時間を守る	46	33	20	2	時間を守る	31	63	6	0		
ろうかを歩く	46	43	7	4	ろうかを歩く	56	38	6	0		
みだしなみをきちんとととえる	41	30	20	9	みだしなみをきちんとととえる	22	69	9	0		
	83	9	4	4		75	25	0	0		
3年					6年						
あいさつ	1	2	3	4	あいさつ	1	2	3	4		
じかんいっぱいそうじする	69	29	0	2	じかんいっぱいそうじする	59	26	12	3		
時間を守る	33	50	17	0	時間を守る	47	41	12	0		
ろうかを歩く	60	38	2	0	ろうかを歩く	35	50	15	0		
みだしなみをきちんとととえる	36	48	17	0	みだしなみをきちんとととえる	12	62	24	3		
	76	14	10	0		88	6	6	0		
全体					全体						
あいさつ	1	2	3	4	あいさつ	守れた	守れなかった				
じかんいっぱいそうじする	62	30	5	3	あいさつ	92	8	・5項目全体としては、90%達成できている。 ・「ろうかを歩く」は、一学期より若干よくなったが、引き続き課題であるので全職員で声をかけていく。 ・「時間を守る」「身だしなみ」については、定着してきている。			
時間を守る	48	40	11	1	じかんいっぱいそうじする	88	12				
ろうかを歩く	56	36	7	1	時間を守る	92	8				
みだしなみをきちんとととえる	35	48	13	4	ろうかを歩く	83	17				
	81	13	3	2	みだしなみをきちんとととえる	95	5				

- 1 守れた
- 2 まあまあ守れた
- 3 あまり守れなかった
- 4 守れなかった